



声の広報 届けています

わたしたちが



皆さんの手元に届く広報を目の不自由な人やお年寄りのために、声の広報として音訳しているグループをご存じですか？

平成9年に発足した音声訳ボランティアグループ「こまどり」。結成15年目を迎えた彼女たちの努力と活躍ぶりを紹介します。

音声訳(朗読)ボランティア こまどり

広報は行政からのお知らせであり、広報を読むことは住民に与えられた権利です。それを目の不自由な方にサポートすることが私たちの役目。広報紙が皆さんの手元に届くのとほぼ同時に、私たちの声の広報が届くよう奮闘しています。

音にすると目にするよりどうしても理解しにくくなってしまふ。それを少しでも分かりやすく伝えるために努力も怠っていません。会員の半数以上が点字図書館での講習を受け、また、毎月の勉強会では、読み方や間の

取り方、発声練習などをして訓練を重ねています。音訳は、紙面に書かれている内容を引いた内容でも足した内容でもない。写真の描写など難しい、大変な作業ではありますが、作る喜びもあるから1号も欠かさず今までやってこれました。

色んな技術が発達し、機械が音訳できる時代。でも、心のこもった肉声だから届く温かさがあると思うんです。「待っている人がいる限り、声の便りを届け続ける」。この発足当時から合言葉を胸にこれからも頑張ります。

心のこもった肉声を、
これからも届け続けたい――



音声訳ボランティアこまどり代表
たなべ さよこ
田邊 小夜子さん
(安永3町内)